

令和8年度「広島県青少年のインターネット利用状況調査」の結果について

1 要旨・目的

令和8年度「広島県青少年のインターネット利用状況」についての調査を実施したので、その結果について報告する。

2 現状・背景

スマートフォン等のインターネット接続機器の普及により、インターネットは日常生活において欠かせない存在となった一方、青少年が有害情報サイトなどにアクセスすることにより、犯罪やトラブルに巻き込まれるリスクも懸念されている。

このような現状を踏まえ、青少年及び保護者のインターネット利用状況について把握し、青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境づくりに資するため、本調査を令和2年度から毎年度実施している。

3 概要

(1) 実施主体

広島県

(2) 調査対象

県内在住の満10歳から満17歳までの青少年及びその保護者

※青少年への調査項目は、保護者が本人から聞き取り回答

(3) 調査期間

令和8年6月12日から6月15日

(4) 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

(5) 有効回答数

482人

【青少年の内訳】

区分	全 体	小学生	中学生	高校生
男	241人	80人	81人	80人
女	241人	80人	80人	81人
計	482人	160人	161人	161人

4 主な調査結果

項 目	傾向 (R2とR8の比較)	R 8	R 7	R 2 (調査開始年)	R 8結果の摘要
①インターネット利用率	増加傾向	94.6%	95.0%	89.0%	小学生：90.0% 中学生：95.7% 高校生：98.1%
②自分専用のスマートフォンでインターネットを利用している割合	増加傾向	59.3%	60.3%	52.0%	小学生：18.8% 中学生：72.7% 高校生：86.3%
③インターネット利用機器の利用時間（3時間以上）	増加傾向	33.9%	30.8%	23.8%	小学生：19.8% 中学生：33.1% 高校生：47.5%
④インターネット利用に関する家庭のルールを決めている割合（保護者）	減少傾向	60.1%	59.3%	65.6%	小学生：75.0% 中学生：67.5% 高校生：39.2%
⑤インターネット利用に関する啓発や学習経験がある割合（青少年・保護者）	減少傾向	43.4% 48.1%	47.1% 47.3%	49.8% 51.7%	上段：青少年 下段：保護者
⑥スマートフォンにおけるフィルタリング利用率	横ばい	36.9%	32.1%	33.8%	小学生：41.5% 中学生：44.5% 高校生：28.6%

5 調査結果の分析

(1) 青少年のスマートフォン利用の増加及び低年齢化が進む一方、青少年、保護者ともに啓発や学習の経験が不足

- ・ 青少年のインターネット利用率は94.6%と、令和2年度に比べ約6ポイント上昇している。
- ・ 利用率を学校種別でみると、小学生で90.0%と、令和2年度（小学生81.4%）に比べ約9ポイント上昇し、利用の低年齢化が進んでいる。
- ・ 自分専用のスマートフォンを利用している割合は、青少年全体で59.3%と、令和2年度に比べ約7ポイント上昇し、スマートフォンの個人利用が進むとともに、インターネット機器の利用が3時間以上の割合は、令和2年度に比べ約10ポイント上昇するなど、利用が長時間化している傾向にある。
- ・ その一方で、インターネット利用に関する家庭のルールを決めている割合やインターネット利用に関する啓発や学習の経験がある青少年及び保護者の割合は減少傾向にあり、インターネットを利用する上でのルールや危険性を学ばないまま利用している状況が伺える。
- ・ 利用内容は、動画視聴(75.2%)、検索・調べもの(62.7%)、ゲーム(60.1%)、SNS等(58.3%)の順で多いが、生成AIを利用しているとの回答も18.2%あることから、情報の真偽を見極める力、自らリスクを判断し行動できる力等が必要となってきた。

(2) フィルタリング利用率は横ばい

- ・ フィルタリング利用率は例年3割超で推移しており、調査結果から、保護者はインターネットやスマートフォンの使い方について子供を信用している割合が高いことや、保護者のフィルタリングの設定やカスタマイズに関する理解や、有効性についての認識が低いことなどが見受けられる。

6 今後の方向性（令和8年度の取組）

国、市町、携帯電話事業者等と連携し、青少年及び保護者に対する啓発や学習機会の提供など、インターネットの適正利用に向けた取組を進める。

(1) 学習機会の提供等の推進

県HP・SNS等を活用し、インターネットトラブル事例等を交えた家庭のルールづくりやフィルタリング利用促進についての広報啓発をより積極的に行う。また、学校やPTA等を通じた青少年及び保護者向け啓発資料や携帯電話事業者が実施する啓発講座についてのチラシ等の配布、国や市町と連携した啓発セミナーの開催を行う。

(2) 携帯電話事業者等との連携推進

広島県青少年健全育成条例に基づく携帯電話販売店等への立入調査の機会を捉え、契約時に保護者等に対し、改めてフィルタリングへの加入を促すよう協力を依頼する。

また、本調査において、フィルタリングを利用するに至ったきっかけとして「携帯電話販売店での説明を受けて」が最も多い結果となっていることから、引き続き、携帯電話販売店において保護者へのフィルタリング利用に関する資料の配付について、協力依頼を行う。

7 令和8年度予算

1,684千円

8 その他

県ホームページ「令和8年度広島県青少年のインターネット利用状況調査結果」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/seisyounen-kennzennikusei/internet-research-r8.html>

令和8年度 広島県青少年の インターネット利用状況調査【結果】

令和8年9月
広島県 環境県民局 県民活動課

目次

調査概要	1
1 青少年のインターネット利用状況	
（1）インターネット利用率・利用機器	2
（2）機器の専用・共用	3
（3）利用内容	4
（4）利用時間	5
2 インターネット利用に関する家庭のルールの有無	6
3 インターネット利用の管理の有無	7
4 インターネット利用に関する啓発や学習の経験	
（1）青少年	8
（2）保護者	9
5 フィルタリングについて	
（1）利用していない理由	10
（2）利用のきっかけ	11

調査概要

1 調査目的

青少年及び保護者のインターネット利用状況について把握し、青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境づくりに向けた取組の参考にする。（「青少年」とは、満10歳から満17歳にある者をさし、その保護者を「保護者」と表記する。）

2 調査期間

令和8年6月12日～6月15日

3 調査方法

インターネットパネル※を利用したアンケート調査

※調査会社の登録会員に対して、WEB画面上のアンケートなどのリサーチを実施する手法

【青少年の内訳】

4 調査対象

県内在住の満10歳から満17歳までの青少年の保護者（482人）

※青少年への調査項目は、保護者が本人から聞き取り回答

区 分	全 体	小学生	中学生	高校生
男	241人	80人	81人	80人
女	241人	80人	80人	81人
計	482人	160人	161人	161人

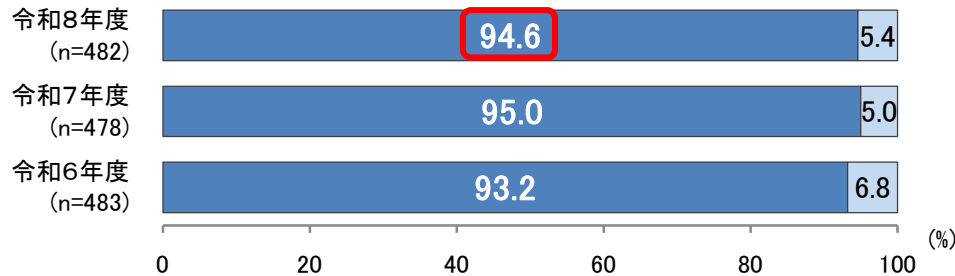
5 その他

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合回答の合計は調査数を上回ることがある。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (4) グラフ、図表、文中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）を表している。
- (5) 令和6年度の「A」スマートフォンの数値は、選択肢の統合に伴い、「スマートフォン」「いわゆる格安スマートフォン」「機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン」のn数を合算し、それを全体のn数で割ったもの（×100）を参考値として算出している。

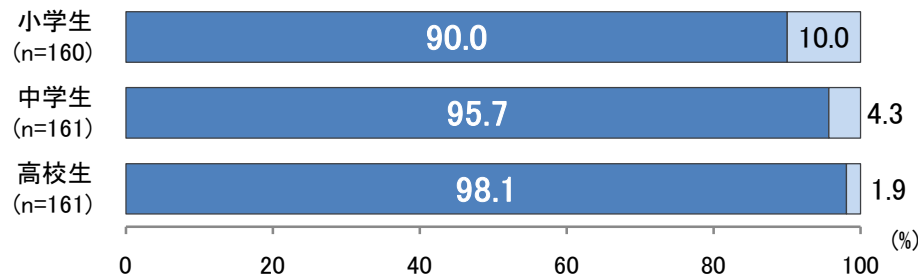
1(1) 青少年のインターネット利用状況（インターネット利用率、利用機器）

- ▶ 青少年の94.6%がインターネットを利用しているとの回答。[令和7年度：95.0%、▲0.4ポイント]
 - ▶ 学校種別では、小学生の90.0%、中学生の95.7%、高校生の98.1%がインターネットを利用しているとの回答。
 - ▶ インターネットの利用機器について、「スマートフォン」との回答は68.0%と最も高く、次いで「学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等」（38.0%）、「自宅用のパソコンやタブレット等」（34.6%）が上位。
 - ▶ インターネット利用機器のうちスマートフォン利用率は、小学生(33.1%)、中学生(79.5%)、高校生(91.3%)と学校種が上がるにつれて高くなっている。
- ※インターネット利用率・利用機器は、保護者が子供の状況について回答したもの

○インターネット利用率



【学校種別】

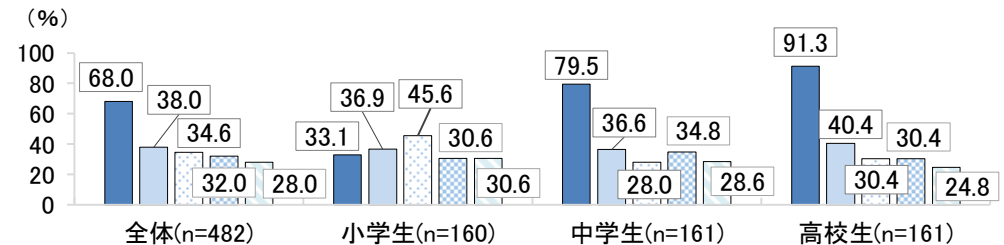


■ インターネットを利用している ■ インターネットを利用していない

○インターネット利用機器(上位5位)

区分	令和8年度 (n=482)	令和7年度 (n=478)	令和6年度 (n=483)
[A]スマートフォン	68.0	68.4	73.3
[E]学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等	38.0	35.4	35.4
[D]自宅用のパソコンやタブレット等	34.6	36.0	36.0
[F]ゲーム機	32.0	34.1	32.1
[G]テレビ	28.0	24.5	22.4

【学校種別】



■ [A]スマートフォン ■ [E]学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等
 ■ [D]自宅用のパソコンやタブレット等 ■ [F]ゲーム機 ■ [G]テレビ

1(2) 青少年のインターネット利用状況（機器の専用・共用）

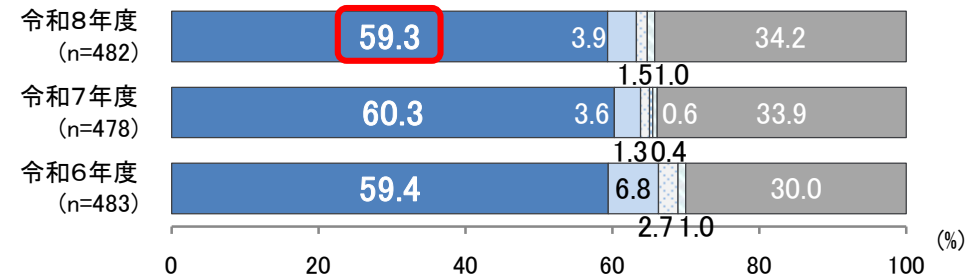
- ▶ 自分専用のスマートフォンでインターネットを利用している割合は59.3%となっている。
[令和7年度：60.3%、▲1.0ポイント]
- ▶ 学校種別では、小学生(18.8%)、中学生(72.7%)、高校生（86.3%）と学校種が上がるにつれて高くなっている。

○青少年の各機器の専用・共用状況 n=482

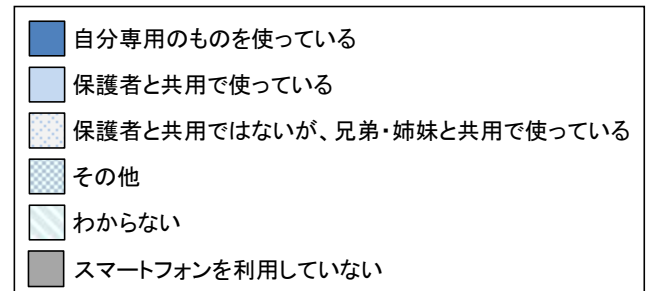
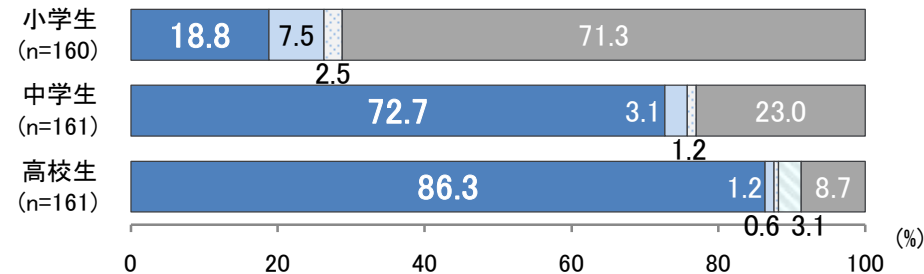
区分	子供専用	保護者と共用	兄弟・姉妹と共用	その他	わからない
[A]スマートフォン	59.3	3.9	1.5	—	1.0
[B]契約していないスマートフォン	6.0	2.7	1.0	—	0.2
[C]携帯電話	1.7	0.8	0.4	—	0.2
[D]自宅用のパソコンやタブレット等	16.0	15.1	1.7	—	0.4
[F]ゲーム機	13.7	10.2	5.8	—	—
[G]テレビ	2.5	20.3	1.0	0.2	0.2

(%)

○スマートフォンの専用・共用状況（全体）



【学校種別】



1(3) 青少年のインターネット利用状況（利用内容）

- ▶ インターネットを利用する内容は、「動画視聴」との回答が75.2%と最も高く、次いで「検索・調べもの」（62.7%）、「ゲーム」（60.1%）が上位。【令和7年度：「動画視聴」（75.9%）、「検索・調べもの」（54.9%）、「ゲーム」（62.3%）】
- ▶ スマートフォンのみでは「コミュニケーション」との回答が75.1%と最も高く、次いで「動画視聴」（73.5%）が続いている。

○青少年のインターネットの利用内容（[A]～[G]いずれかの機器・スマートフォン）

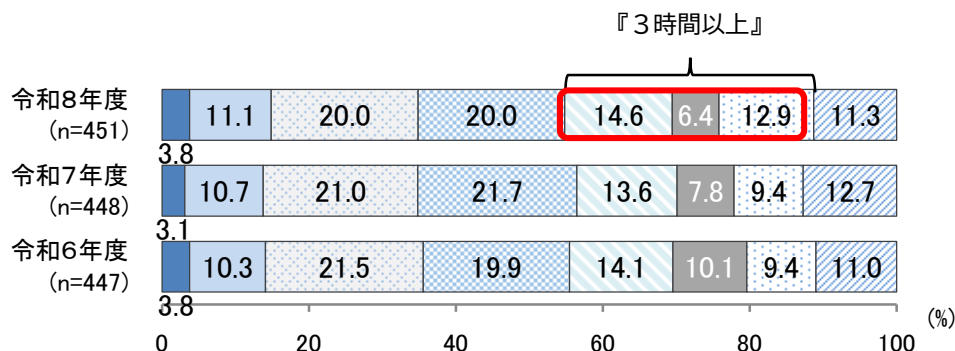
		(%)												
区分		コミュニケーション(SNS, メール等)	ニュース	検索・調べもの	地図	音楽を聴く	動画視聴	動画配信	電子書籍(小説・マンガ等)	ゲーム	買い物	勉強・習い事	生成AI(ChatGPT Copilot Gemini等)	その他
いずれかの機器	【経年比較】													
	令和8年度(n=451)	58.3	25.9	62.7	20.2	45.2	75.2	12.9	11.5	60.1	10.2	40.1	18.2	5.1
	令和7年度(n=448)	48.9	27.9	54.9	28.8	52.2	75.9		25.7	62.3	6.5	45.1		5.1
	令和6年度(n=447)	53.5	28.4	59.1	26.6	51.2	79.4		27.1	67.1	7.8	47.0		6.5
	【学校種別(令和8年度)】													
	小学生(n=141)	28.4	19.9	51.1	11.3	20.6	66.7	13.5	5.0	50.4	4.3	36.9	5.0	8.5
	中学生(n=154)	62.3	22.1	59.7	18.2	45.5	72.7	11.0	13.0	62.3	7.8	34.4	17.5	3.9
	高校生(n=156)	81.4	35.3	76.3	30.1	67.3	85.3	14.1	16.0	66.7	17.9	48.7	30.8	3.2
スマートフォン	【経年比較】													
	令和8年度(n=317)	75.1	24.3	61.2	22.4	53.3	73.5	9.1	11.7	55.2	12.0	20.8	21.5	0.9
	令和7年度(n=316)	62.7	30.4	54.7	32.0	59.5	78.2		28.2	61.7	7.6	28.5		1.3
	令和6年度(n=338)	61.8	30.2	61.5	29.3	56.8	79.3		28.9	60.1	8.3	26.0		2.1
	【学校種別(令和8年度)】													
	小学生(n=46)	56.5	17.4	52.2	15.2	23.9	50.0	6.5	4.3	43.5	8.7	10.9	4.3	-
	中学生(n=124)	71.8	17.7	54.0	16.9	47.6	70.2	8.9	11.3	52.4	6.5	14.5	16.9	1.6
	高校生(n=147)	83.7	32.0	70.1	29.3	67.3	83.7	10.2	14.3	61.2	17.7	29.3	30.6	0.7

※ 令和6・7年度にはない選択肢、 は「読書をする」か「マンガを読む」を選択した人で再算出

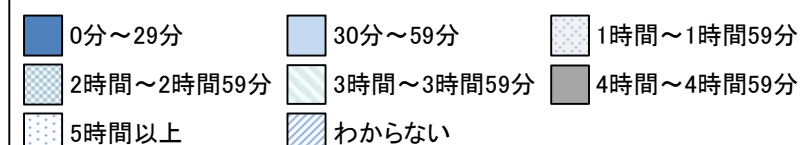
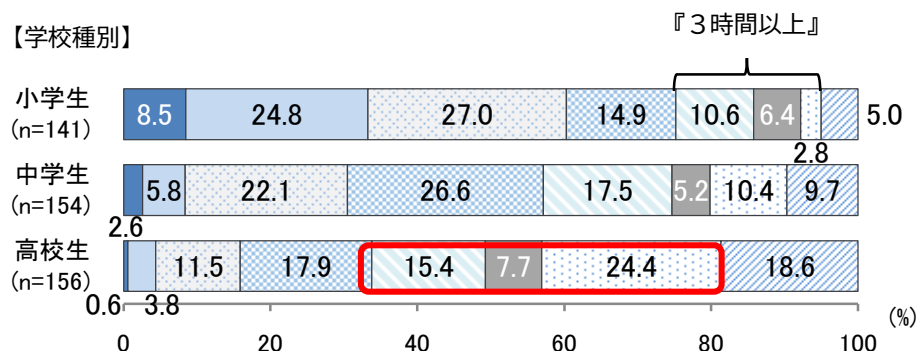
1(4) 青少年のインターネット利用状況（利用時間）

- インターネット機器の合計利用時間は、『3時間以上』の割合が33.9%となっている。[令和7年度：30.8%、+3.1ポイント]
- 学校種別では、『3時間以上』の割合が高校生で47.5%と最も高い。
- 目的ごとの利用時間では、『2時間以上』の割合が趣味・娯楽で28.2%と最も高い。

○インターネット機器の合計利用時間

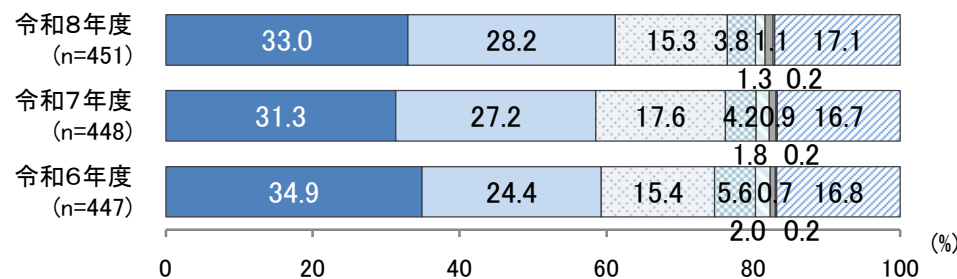


【学校種別】

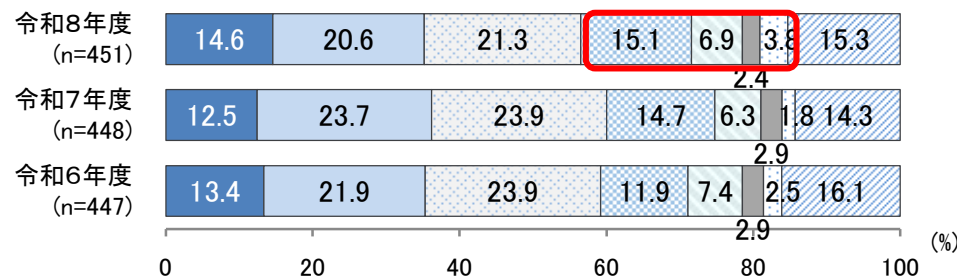


○目的別の利用時間

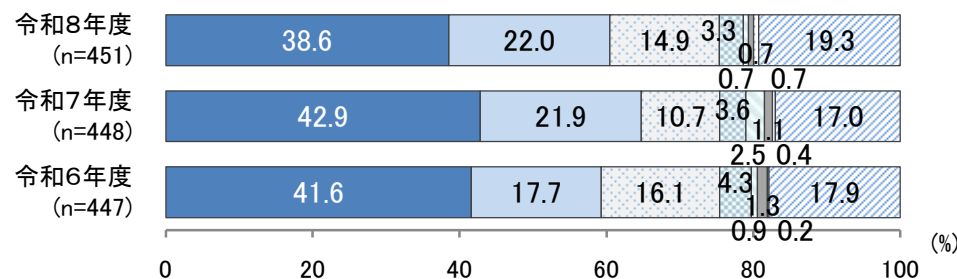
【勉強・学習・知育】



【趣味・娯楽】



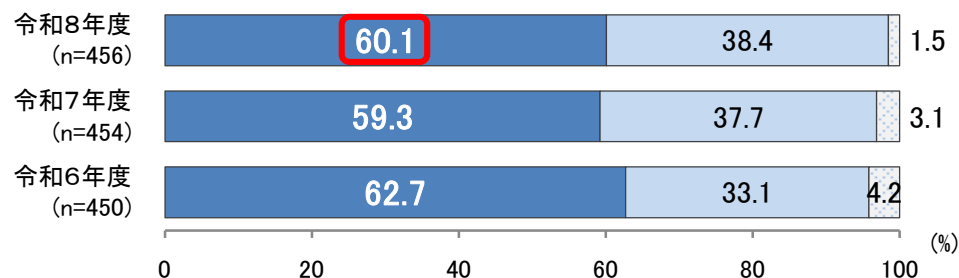
【保護者・友人等とのコミュニケーション】



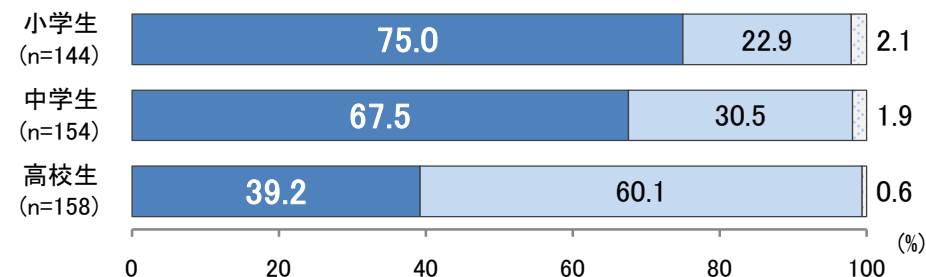
2 インターネット利用に関する家庭のルールの有無

- ▶ 家庭でのルールの有無について、保護者（60.1%）と青少年（59.9%）で大きな差はみられない。
[令和7年度：保護者59.3%、+0.8ポイント 青少年61.8%、▲1.9ポイント]
- ▶ 学校種別では、学校種が上がるにつれ、保護者・青少年ともに「ルールを決めている」認識が低くなる。

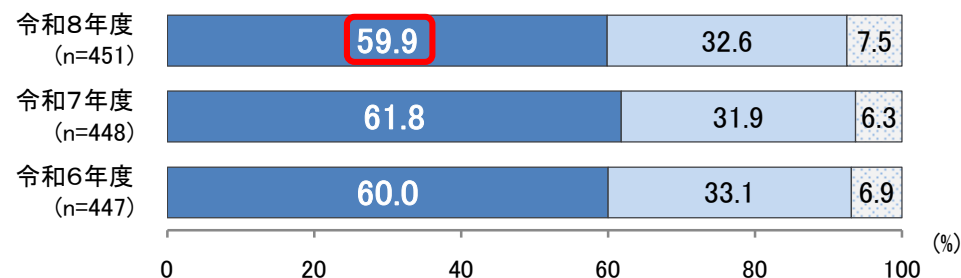
○ルールの有無に関する保護者の認識



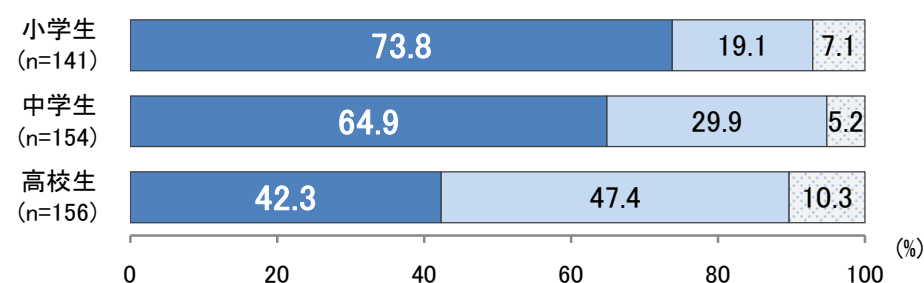
【学校種別】



○ルールの有無に関する青少年の認識



【学校種別】



ルールを決めている
 ルールを決めていない
 わからない

3 インターネット利用の管理の有無

- ▶ スマートフォンを利用する青少年の保護者の72.6%が、いずれかの方法で子供のインターネット利用を管理していると回答。
[令和7年度：70.0%、+2.6ポイント]
- ▶ 学校種別では、いずれかの方法で管理しているとの回答した保護者の割合は、小学生(94.3%)、中学生(79.7%)、高校生(58.5%)と学校種が上がるにつれて低くなっている。
- ▶ 「フィルタリングを使っている」割合は36.9%となっている。【令和7年度：32.1%、+4.8ポイント】

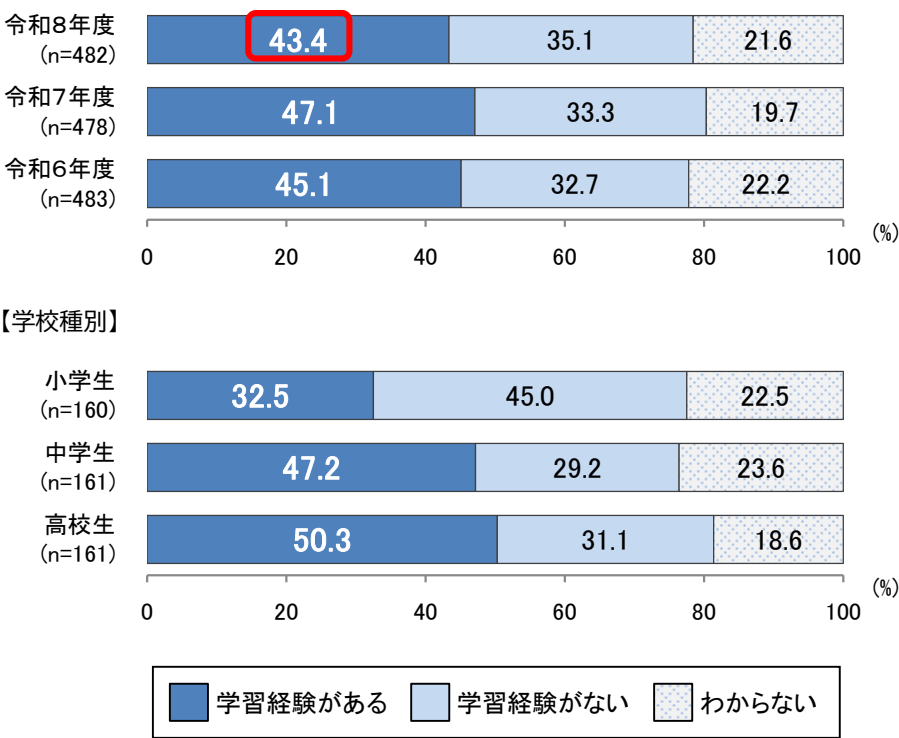
○インターネット利用の管理有無（スマートフォン）

区分	(管理している 計)	スマートフォン利用者における管理方法の内訳 ※複数回答可									はネットのイン タ－利用の管理 していない
		て離が目 いー見の前 るでえー画 使る距面 わせ	せをい利 て決時間 いめてや る使場所 わ	使スあ対 わやつ象 せアた年 てブサ いリーに るをビ	してへど何 てい時間 るかーら内 把使い容 握つー	い時機 る間の器 管の理設 定で	るグフ をイ 使ル つタ てリ イン	しテ利供 ン用サ いツしー る制てビ 限コス をを提	い管の課 理他の金 を行の管 行目的理 つて等 でそ		
【経年比較】											
令和8年度 (n=328)	72.6	11.6	28.0	30.8	22.3	13.1	36.9	7.9	15.9	27.4	
令和7年度 (n=327)	70.0	12.8	32.7	26.9	19.3	13.5	32.1	6.7	13.1	30.0	
令和6年度 (n=354)	77.7	15.5	34.7	30.8	22.9	12.4	30.5	6.2	16.9	22.3	
【学校種別 (令和8年度)】											
小学生 (n=53)	94.3	32.1	45.3	41.5	35.8	13.2	41.5	13.2	9.4	5.7	
中学生 (n=128)	79.7	10.2	41.4	35.2	27.3	19.5	44.5	11.7	19.5	20.3	
高校生 (n=147)	58.5	5.4	10.2	23.1	12.9	7.5	28.6	2.7	15.0	41.5	

4 (1) インターネット利用に関する啓発や学習の経験（青少年）

- インターネット利用に関する学習経験がある青少年は、43.4%となっている。[令和7年度：47.1%、▲3.7ポイント]
- 学校種別では、学習経験がある青少年の割合は、学校種が上がるにつれて高くなっている。
- 啓発や学習を受けた機会では、「学校・保育所・幼稚園等」との回答が86.6%と最も高い。
[令和7年度：85.3%、+1.3ポイント]

○青少年のインターネット利用に関する学習経験の有無



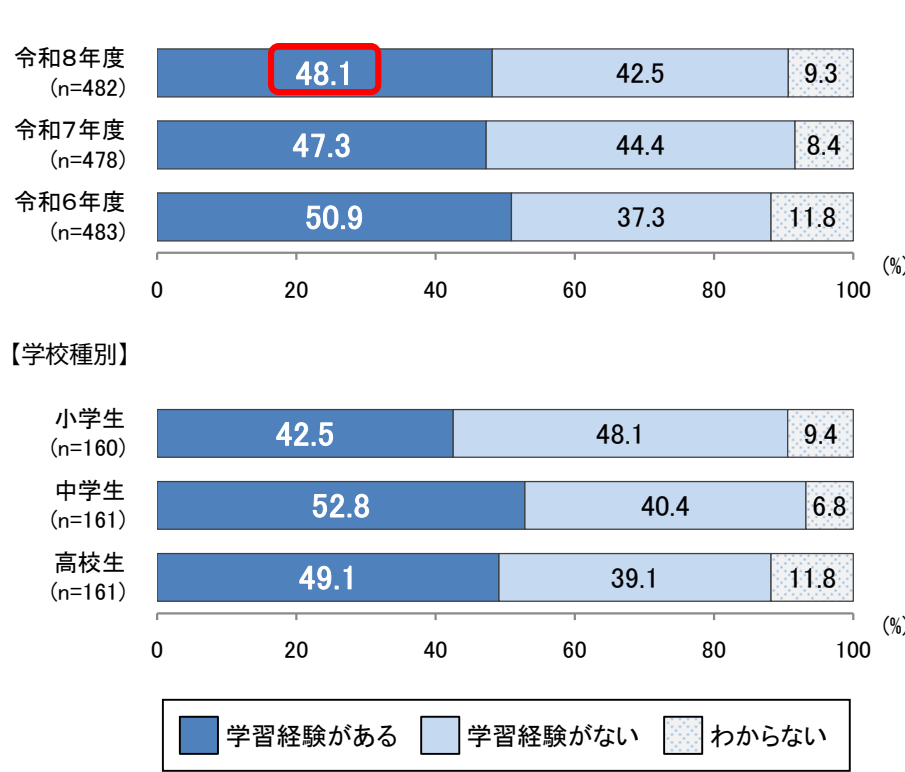
○青少年のインターネット利用に関する啓発や学習を受けた機会

区分	幼稚園・保育所・小学校等	親（保護者）	兄弟・姉妹	販売員の購入時の機器	資料の購入時の機器	友達	テレビや本など	インターネット	その他
【経年比較】									
令和8年度 (n=209)	86.6	31.6	2.9	4.8	4.8	5.7	10.0	10.0	—
令和7年度 (n=225)	85.3	41.3	7.1	7.6	2.7	6.7	13.8	12.4	—
令和6年度 (n=218)	90.4	40.4	6.9	5.5	2.8	8.3	10.1	10.1	—
【学校種別（令和8年度）】									
小学生 (n=52)	73.1	30.8	3.8	5.8	3.8	3.8	13.5	7.7	—
中学生 (n=76)	86.8	34.2	2.6	5.3	5.3	1.3	3.9	6.6	—
高校生 (n=81)	95.1	29.6	2.5	3.7	4.9	11.1	13.6	14.8	—

4 (2) インターネット利用に関する啓発や学習の経験（保護者）

- インターネット利用に関する学習経験のある保護者は、48.1%となっている。[令和7年度：47.3%、+0.8ポイント]
- 啓発や学習を受けた機会について、「学校や保育所・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など」との回答が43.5%と最も高い。
[令和7年度：52.2%、▲8.7ポイント]

○保護者のインターネット利用に関する学習経験の有無



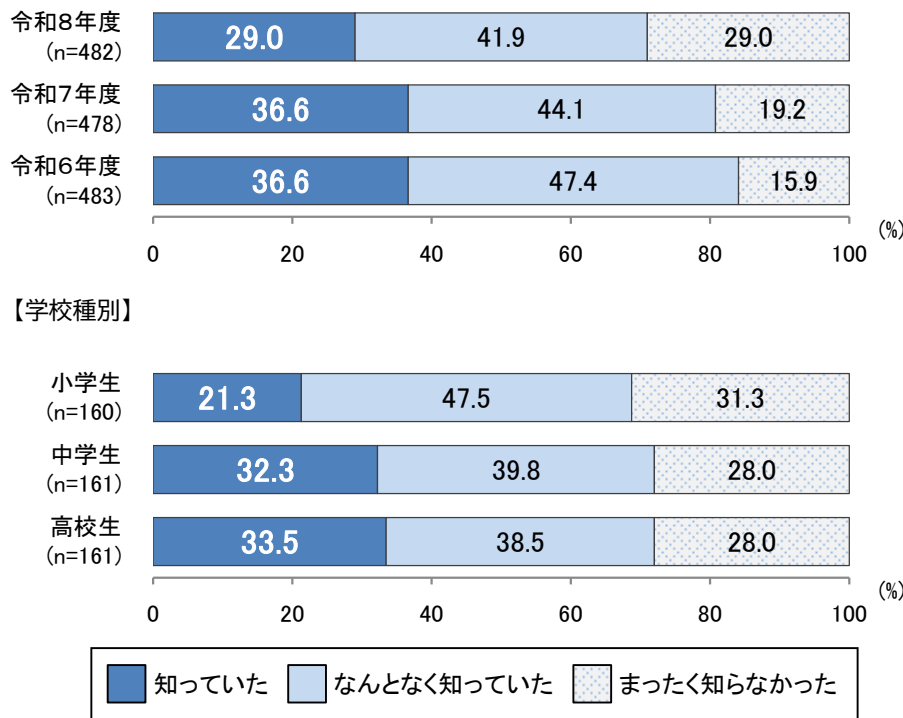
○保護者のインターネット利用に関する啓発や学習を受けた機会

区分	学校やPTAの会合など	学校や保育所・幼稚園等の保護者会など	国・地方公共団体や民間団体が行う講座	病院（産科、小児科等）	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	友人	保護者同士の会話	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	保護者自身が生徒・学生の時に学校等で説明を受けた	その他
【経年比較】												
令和8年度 (n=232)	43.5	31.5	6.0	1.7	7.8	6.0	7.3	15.1	27.6	36.2	7.3	1.7
令和7年度 (n=226)	52.2	40.3	8.0	2.2	7.5	4.9	6.2	9.7	31.0	33.6	9.3	0.4
令和6年度 (n=246)	51.2	39.4	10.2	2.0	6.9	8.5	8.9	15.9	24.8	30.5	7.7	0.4
【学校種別（令和8年度）】												
小学生 (n=68)	29.4	23.5	5.9	2.9	7.4	2.9	8.8	19.1	38.2	41.2	5.9	1.5
中学生 (n=85)	47.1	36.5	7.1	1.2	9.4	7.1	9.4	10.6	22.4	34.1	9.4	1.2
高校生 (n=79)	51.9	32.9	5.1	1.3	6.3	7.6	3.8	16.5	24.1	34.2	6.3	2.5

5 (1) フィルタリングについて (利用していない理由)

- 保護者のフィルタリングの認知度について、「知っていた」は29.0%、「まったく知らなかった」は29.0%となっている。
[令和7年度：36.6%、▲7.6ポイント]
- 保護者が、子供の使用するスマートフォンにフィルタリングを利用していない理由は、「インターネットやスマートフォンの使い方について、子供を信用しているから」との回答が43.0%と最も高い。
[令和7年度：47.1%、▲4.1ポイント]

○フィルタリングの認知度



○スマートフォンでフィルタリングを利用していない理由

区分	理由 (%)										
	インターネットやスマートフォンの使い方について、子供を信用しているから	フィルタリングの必要性がわからないから	フィルタリングの効果がわからないから	フィルタリングの効果がわからないから	フィルタリングの効果がわからないから	フィルタリングの効果がわからないから	フィルタリングの効果がわからないから	フィルタリングの効果がわからないから	フィルタリングの効果がわからないから	フィルタリングの効果がわからないから	フィルタリングの効果がわからないから
【経年比較】											
令和8年度 (n=237)	43.0	25.3	12.7	10.5	5.5	5.5	11.0	7.6	5.1	5.1	3.4
令和7年度 (n=263)	47.1	21.3	14.4	11.4	8.0	6.1	14.1	4.6	4.6	1.5	1.5
令和6年度 (n=266)	47.0	25.2	12.4	9.8	5.3	3.0	10.5	7.5	1.9	3.0	2.6
【学校種別 (令和8年度)】											
小学生 (n=53)	22.6	32.1	17.0	15.1	7.5	3.8	5.7	13.2	1.9	-	7.5
中学生 (n=77)	51.9	23.4	7.8	7.8	3.9	3.9	10.4	7.8	6.5	9.1	1.3
高校生 (n=107)	46.7	23.4	14.0	10.3	5.6	7.5	14.0	4.7	5.6	4.7	2.8

5 (2) フィルタリングについて (利用のきっかけ)

- フィルタリングを利用するきっかけとなったのは、「販売店での説明を受けて」との回答が42.5%と最も高い。
[令和7年度：34.4%、+8.1ポイント]

○フィルタリング利用のきっかけ

(%)

区分	学校の説明を受けて	学校や保育所・幼稚園等で	国や地方公共団体や民間団	体が行う講座に参加して	病院（産科、小児科等）で	教えてもらって	販売店での説明を受けて	友人や保護者同士の会話の中	で	テレビや本、パンフレット	を見て	インターネットでフィルタ	リングを知って	その他	わからない
【経年比較】															
令和8年度(n=146)	17.1	3.4	1.4	42.5	17.8	15.8	33.6	2.1	10.3						
令和7年度(n=125)	22.4	6.4	1.6	34.4	20.0	13.6	34.4	2.4	8.8						
令和6年度(n=129)	28.7	9.3	2.3	37.2	21.7	16.3	31.8	2.3	7.8						
【学校種別(令和8年度)】															
小学生(n=36)	11.1	—	2.8	22.2	13.9	38.9	41.7	5.6	11.1						
中学生(n=63)	15.9	3.2	1.6	42.9	25.4	7.9	28.6	1.6	11.1						
高校生(n=47)	23.4	6.4	—	57.4	10.6	8.5	34.0	—	8.5						